

日本有数の大河川「十勝川」

十勝川は日本有数の規模を誇る一級河川のひとつです。
長さ(幹川流路延長)は156kmで国内一級河川109水系の中では17位、道内では3位です。
流域面積は9,010km²で全国6位、道内2位の広さ。
実に北海道の10%以上の面積に降った雨水が十勝川に流れています。

流域面積
全国6位!



十勝川流域の主な河川

1級河川

とがち
十勝川
おとふけ
音更川
さつない
札内川
としべつ
利別川



川の利用について

川はみんなの共有財産でもあり、地域の人々が自由に使用することができます。ただし、防災や環境の保全などの役割も担っているため、物を設置したり、イベントなどの使用については、河川管理者の許可が必要となる場合があります。また、迷惑行為として、ゴミの不法投棄などを行うと罰せられることになります。未来の子ども達のためにも、大切に使いましょう!!



帯広河川事務所

事業管内



十勝ダム
東大雪湖



しかりべつ
然別湖



札内川ダム



札内川



十勝川



音更川

凡例	
	帯広河川事務所管理区間
	既設砂防堰堤
	施行中



洪水の猛威から暮らしを守るために

十勝川流域では開拓者が入植して以来、たびたび大洪水に見舞われ、住民の意欲と生活が根底から脅かされ続けてきました。中でも大正11年、昭和37年には記録的な大洪水が発生したほか、昭和56年にも大被害が発生しました。近年では平成10年、13年、15年、23年、28年と大雨による大洪水が相次いでおり、いたるところで内水氾濫などによる被害がでました。帯広河川事務所では、万が一の災害に備えて、出水状況に応じた速やかな河川管理施設の巡視等を行うための体制を整えています。



音和橋(音更川)

十勝川の洪水による災害



平成28年の洪水災害

洪水発生年月日	気象原因	被害等
大正11年8月	台風	被害家屋:4,478戸 氾濫面積:5,243ha
昭和37年8月	台風	被害家屋:3,793戸 氾濫面積:40,768ha
昭和47年9月	台風	被害家屋:3,013戸 氾濫面積:30,729ha
昭和50年5月	低気圧	被害家屋:186戸 氾濫面積:2,698ha
昭和56年8月	台風	被害家屋:355戸 氾濫面積:7,017ha
昭和63年11月	低気圧	被害家屋:279戸 氾濫面積:366ha
平成元年6月	低気圧	被害家屋:34戸 氾濫面積:3,940ha
平成10年9月	台風	被害家屋:286戸 氾濫面積:1,907ha
平成13年9月	台風	被害家屋:11戸 氾濫面積:298ha
平成15年8月	台風	被害家屋:51戸 氾濫面積:369ha
平成23年9月	台風	被害家屋:33戸 氾濫面積:38ha
平成28年8月	台風	被害家屋:356戸 氾濫面積:1,412ha

3つの台風と台風第10号

平成28(2016)年8月17日～23日の間に、観測史上はじめて北海道に3つの台風(台風第7・11・9号)が連続して上陸。更に1週間後の8月30日には台風第10号が接近しました。この台風により記録的な豪雨が 발생し、河川氾濫や堤防の決壊、道路・鉄道の寸断、農地流出など、各地で甚大な被害が発生しました。十勝管内においても、札内川と音更川の堤防が決壊したほか、橋梁崩落や内水氾濫、畑の冠水など、甚大な被害が発生。さらに、十勝川等の主要河川が「氾濫危険水位」を超え、複数の基準観測所において最高水位の記録を更新しました。



音更川の低水護岸流出



十勝川の河岸浸食



十勝大橋付近(十勝川)



札内川と戸蔭別川の合流地点

※本ページの画像は全て平成28年8月の洪水のものです。